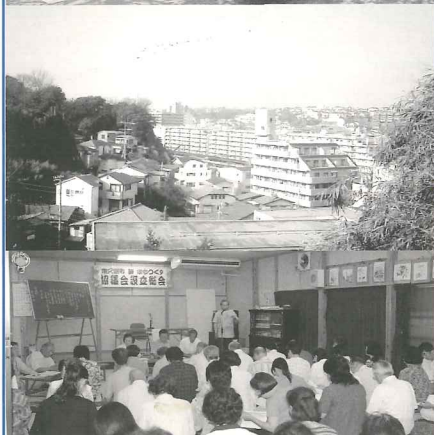


# 東久保町 夢まちづくりニュース

平成18年3月

永久  
保存  
版



## まちづくりアンケート結果 報告号

東久保町夢まちづくり協議会では、横浜市の協力のもと、今後の東久保町のまちづくりを検討していくため、昨年10月に地域にお住まいの皆さんを対象とした、まちづくりアンケートを実施しました。

お忙しい中、アンケート調査にご協力して頂きました皆様、ありがとうございました。

アンケートの集計結果を小冊子にまとめ、皆さんへご報告致します。皆さんが普段感じているまちの課題が、いろいろと出てきました。今後は、地区の皆さんで協力し、課題を一つずつ解消しながら、住みやすいまちをめざしていきましょう。

現在、協議会では、身近な防災に関する整備を検討したり、防災まちづくり計画策定に向けた取り組みを行っています。

また、本協議会は、横浜市より地域まちづくり推進条例に基づく活動支援を受けており、地域の代表的なまちづくり組織であることの認定を受けるための取り組みも行っていきます。

皆様のご参加、ご協力をお願いいたします。

配付数：1,669票  
回収数：1,014票  
回収率：60.7%

発行  
東久保町夢まちづくり協議会  
発行責任者 和田泰次

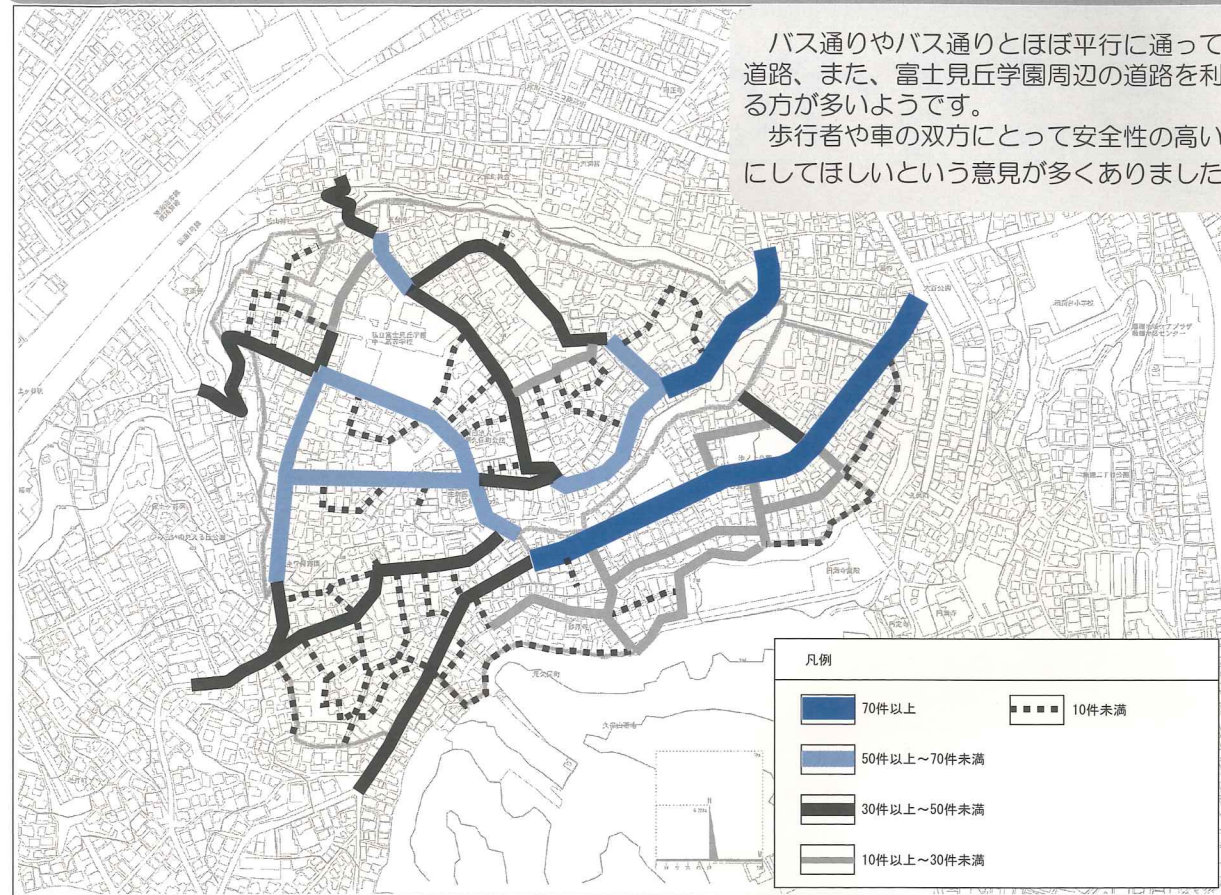


# アンケートから見えてきた東久保町

## よく使う道

バス通りやバス通りとほぼ平行に通っている道路、また、富士見丘学園周辺の道路を利用する方が多いようです。

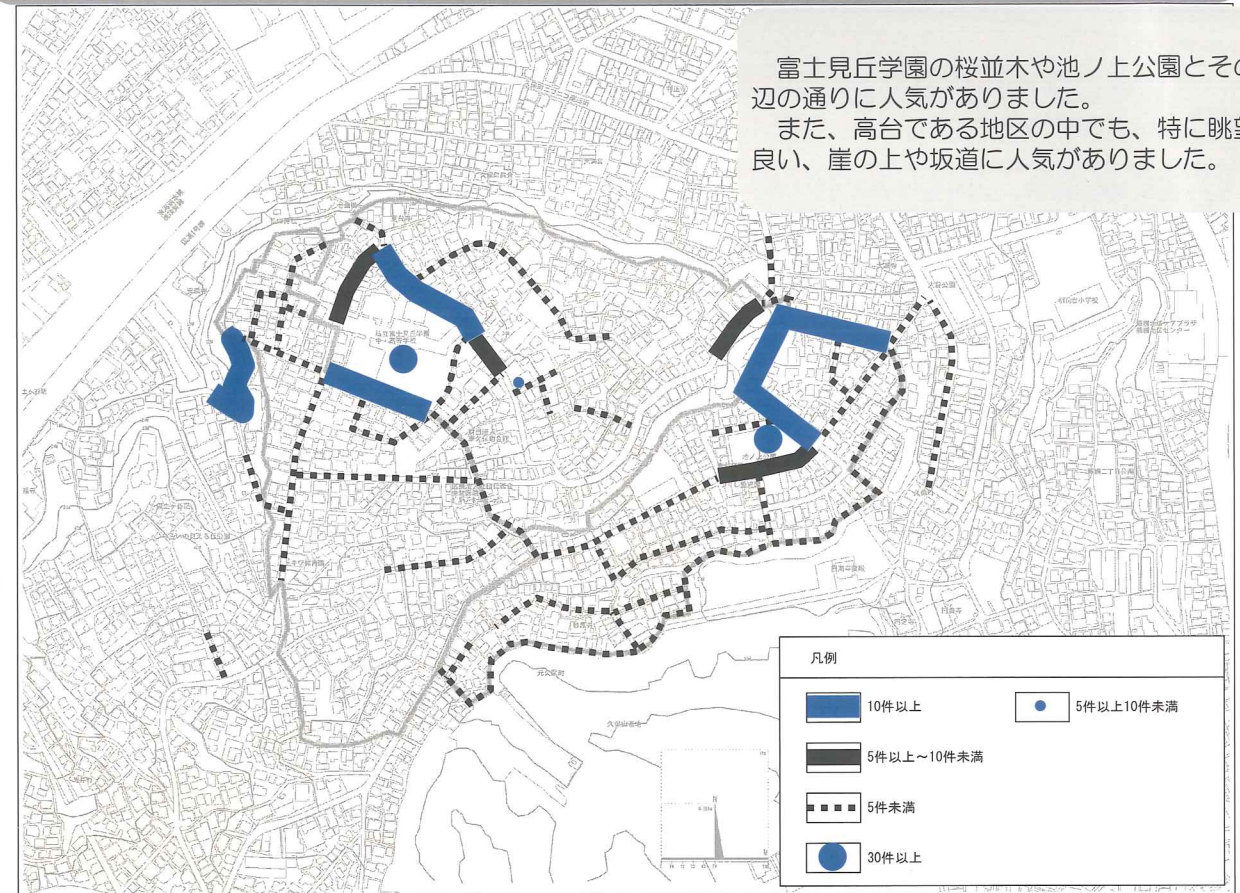
歩行者や車の双方にとって安全性の高い道路にしてほしいという意見が多くありました。



## 好きな場所・道

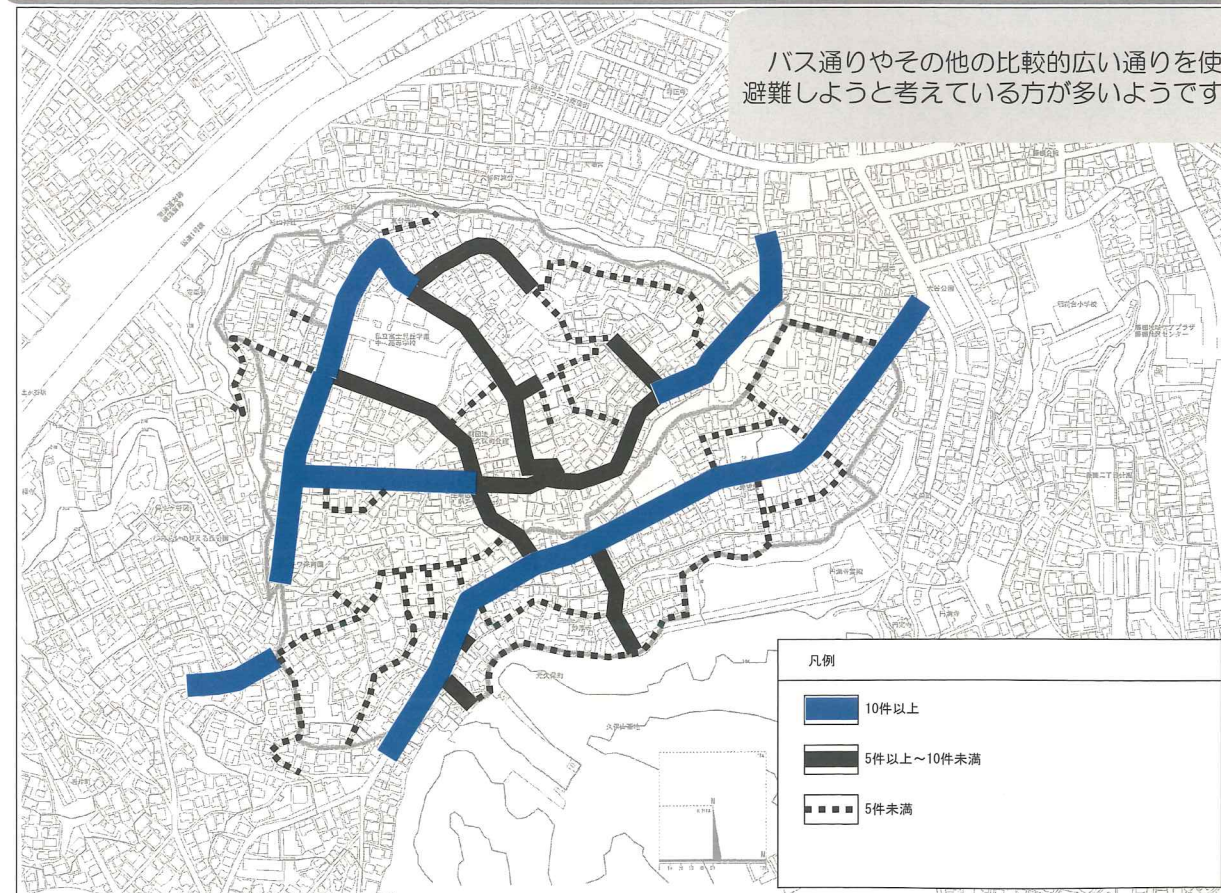
富士見丘学園の桜並木や池ノ上公園とその周辺の通りに人気がありました。

また、高台である地区の中でも、特に眺望の良い、崖の上や坂道に人気がありました。



## 避難に使う・使おうと思っている道

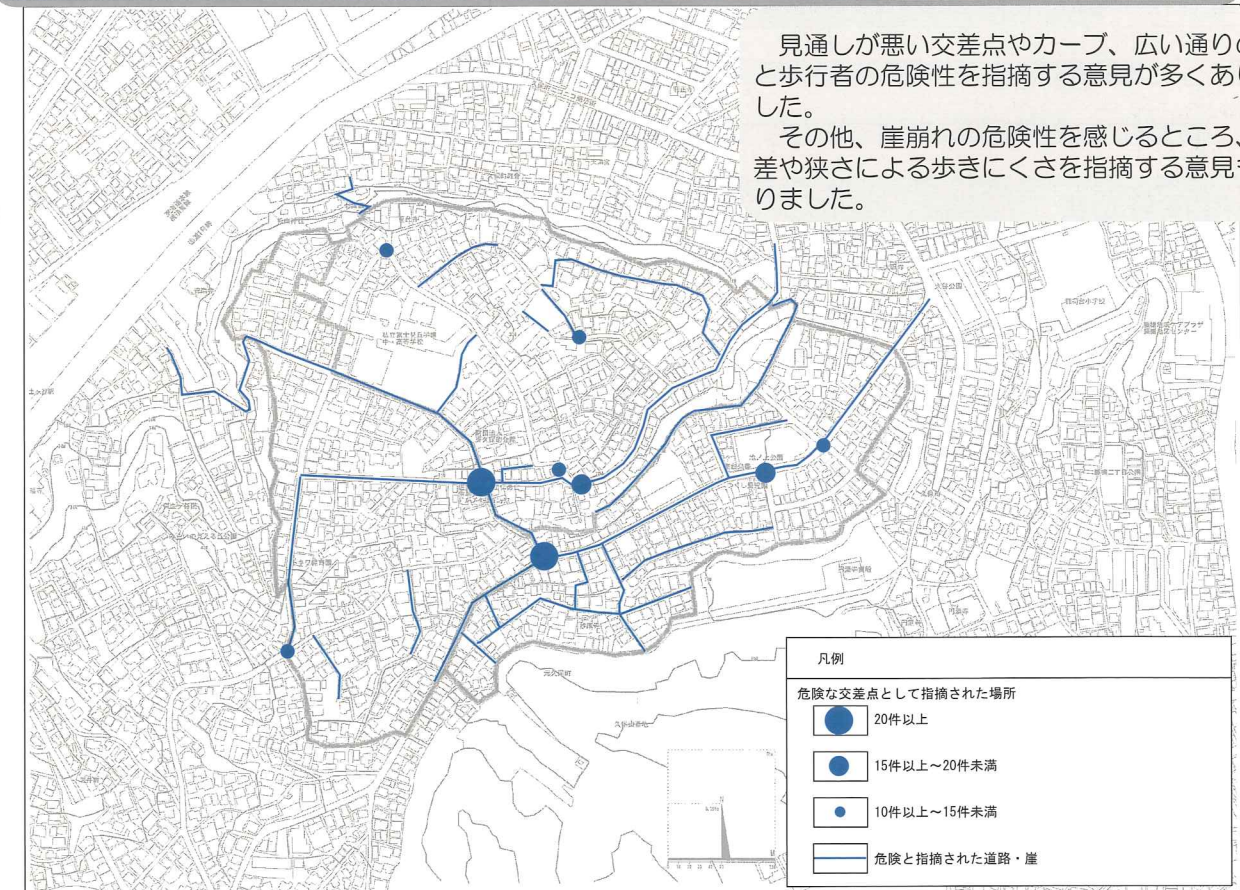
バス通りやその他の比較的広い通りを使い、避難しようと考えている方が多いようです。



## 危険を感じる場所・道

見通しが悪い交差点やカーブ、広い通りの車と歩行者の危険性を指摘する意見が多くありました。

その他、崖崩れの危険性を感じる場所、段差や狭さによる歩きにくさを指摘する意見もありました。

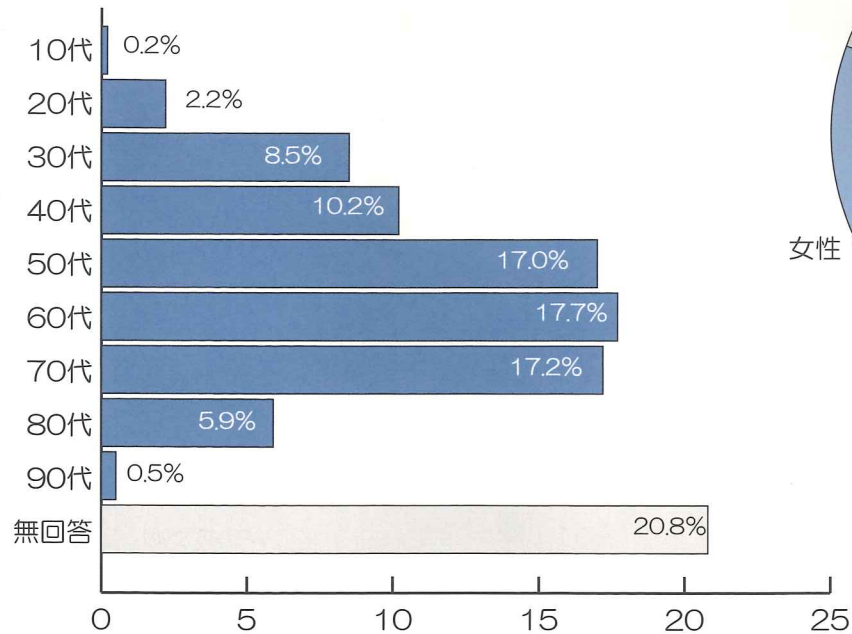




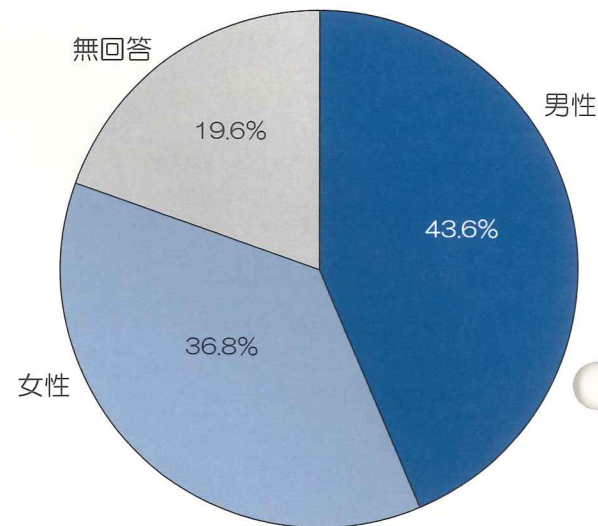
# 回答者について

アンケートに回答して下さった方々の年齢、性別、家族構成をまとめています。

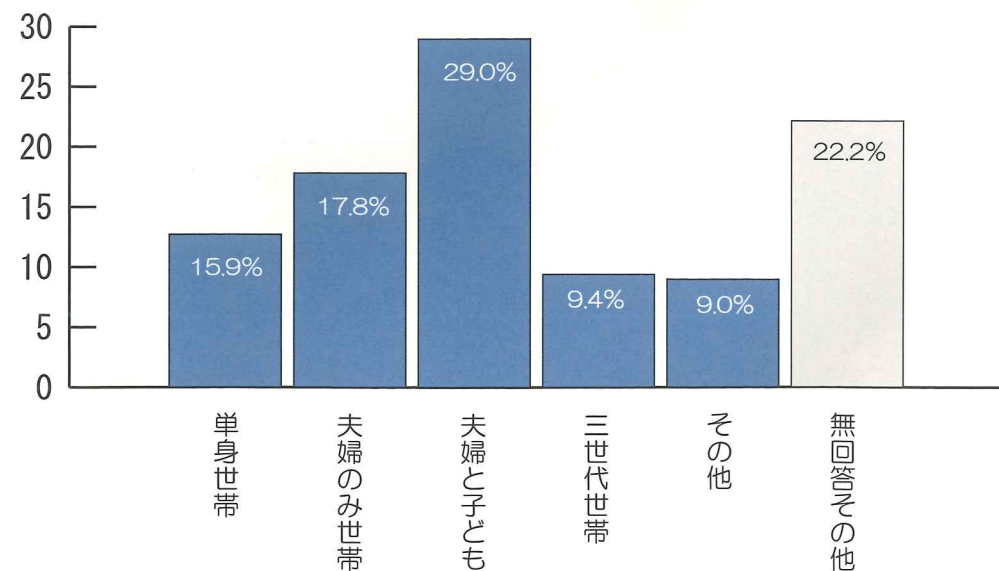
回答者の構成は、50代~70代の方々が多く回答して下さいました。となっていました。



回答者の性別は、男性が43.6%、女性が36.8%となっていました。



家族構成は、「夫婦と子ども」「夫婦のみ」「単身世帯」が多くなっていました。

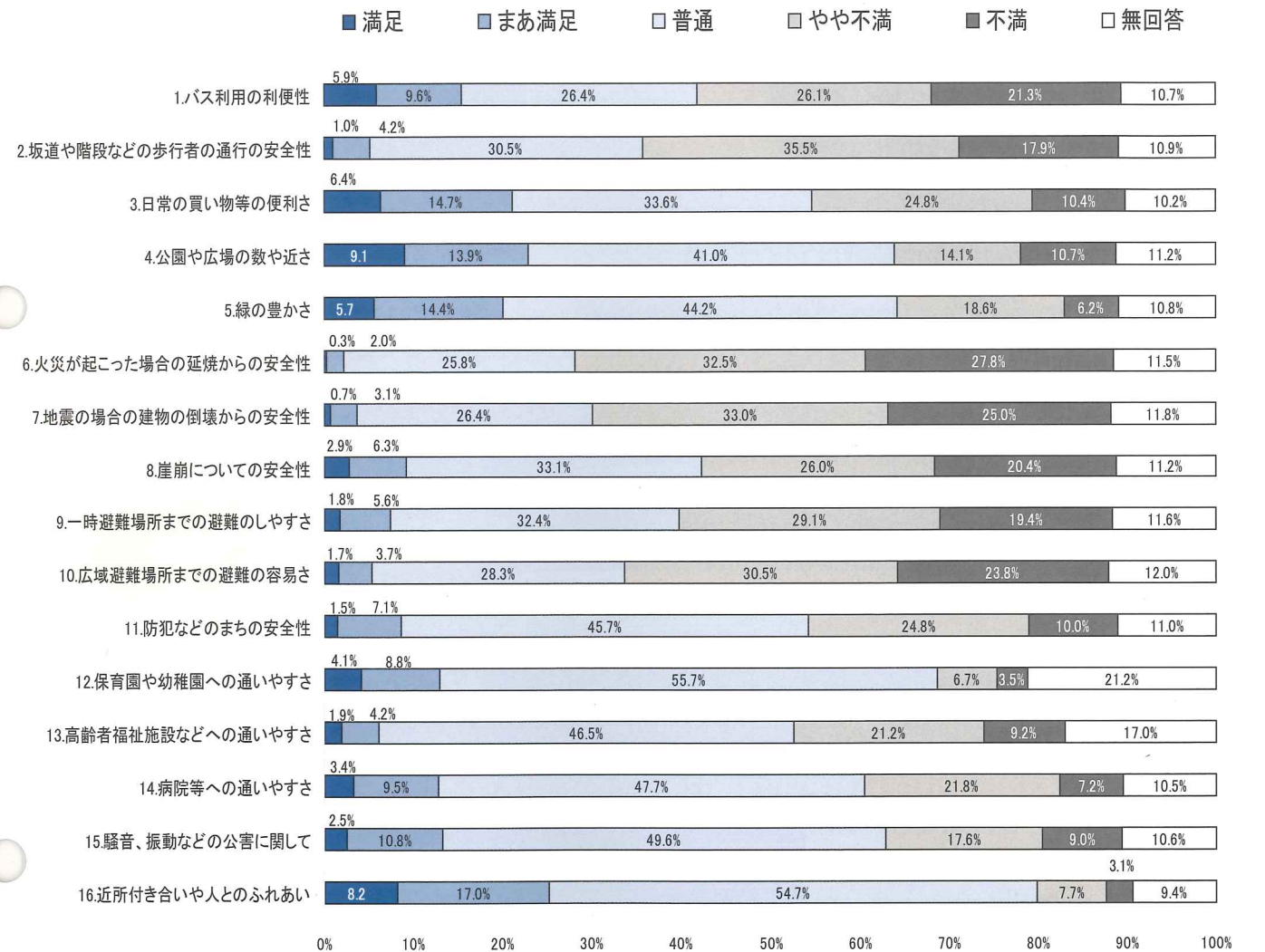


# まちに対する評価について

まちに関するいろいろな要素について、満足度をお伺いしました。

「16.近所付き合いや人とのふれあい」「4.公園や広場の数や近さ」「3.日常の買い物等の便利さ」などの項目は、満足度が比較的高くなっています。

一方、「6.火災が起こった場合の延焼からの安全性」「7.地震の場合の建物の倒壊からの安全性」「10.広域避難場所までの避難の容易さ」「2.坂道や階段などの歩行者の通行の安全性」などについては、満足度が低くなっています。



## 町会別に細かく、まちの満足度をみてみると・・・

**東台会**では、「バスを利用する場合の利便性」や「日常の買い物の便利さ」に対する満足度が比較的高く、「火災が起こった場合の延焼からの安全性」「避難場所までの容易さ」に対する満足度は低くなっています。

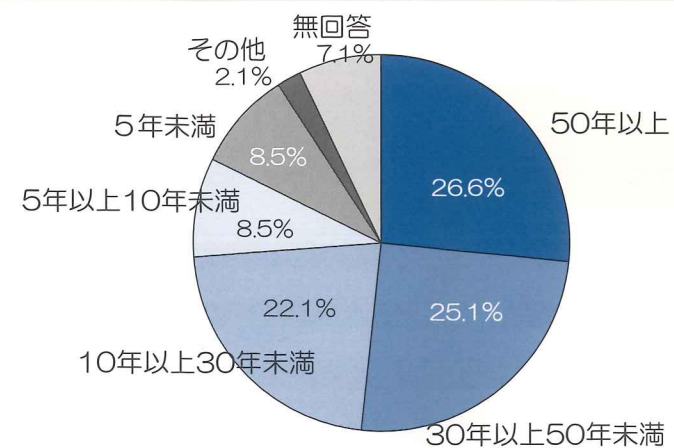
**東朋会**では、「公園や広場の数や近さ」や「周辺の緑の豊かさ」「火災が起こった場合の延焼からの安全性」に対する満足度が比較的高く、「バスを利用する場合の利便性」や「坂道や階段などの歩行者の通行の安全性」「地震の場合の建物の倒壊からの安全性」に対する満足度が低くなっています。

**東睦会**では、「保育園や幼稚園への通いやすさ」や「近所付き合いや人とのふれあい」に対する満足度が比較的高く、「バスを利用する場合の利便性」や「公園や広場の数や近さ」「火災が起こった場合の延焼からの安全性」に対する満足度が低くなっています。

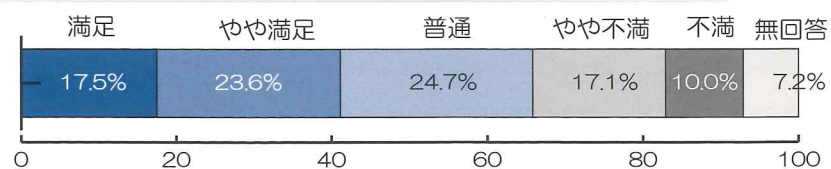


# 住まいについて

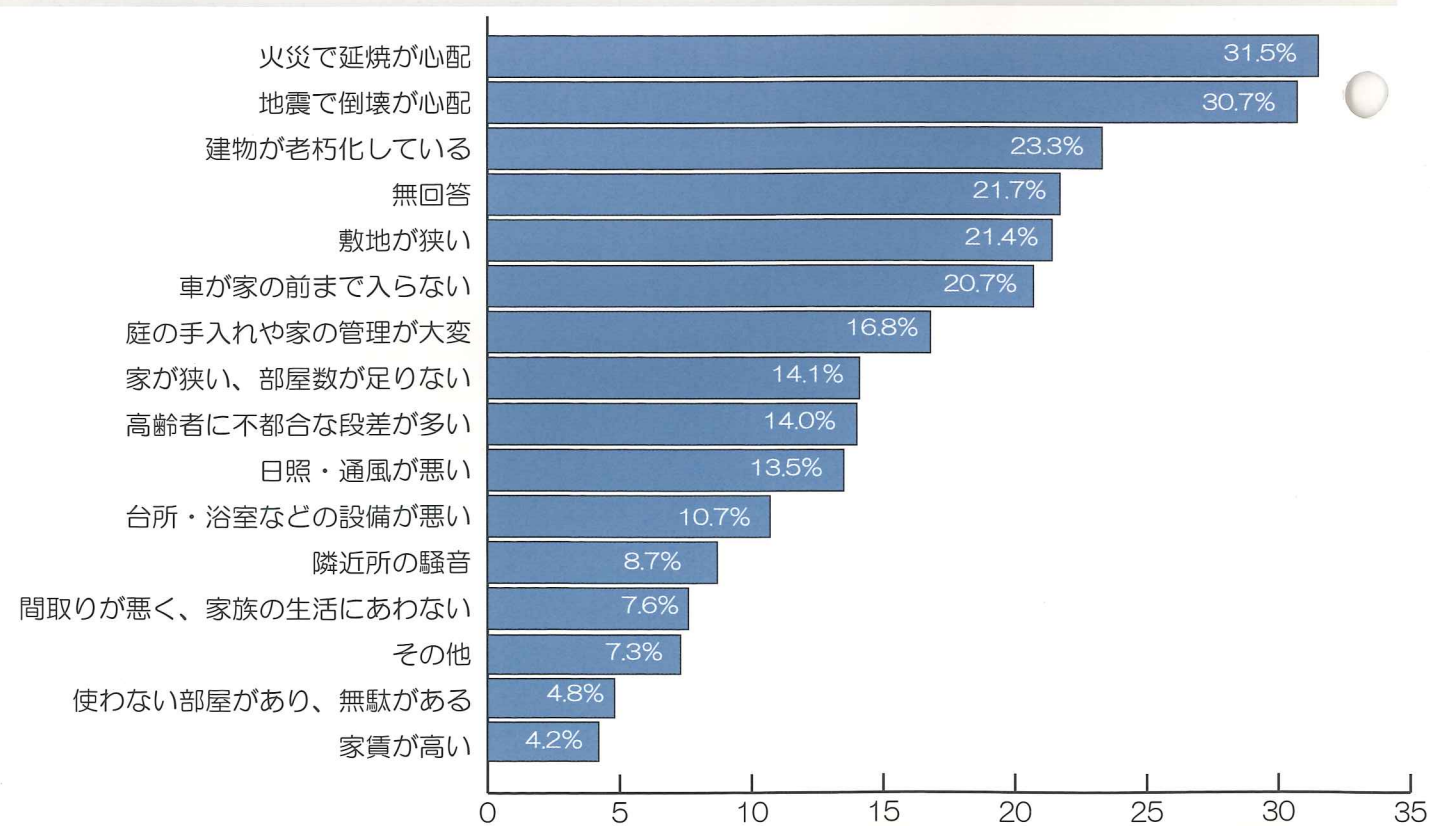
居住年数をお聞きしました。東久保町地区では、居住年数が30年以上という方が、5割以上となっており、古くからお住まいになっている方が多いことが伺えます。



お住まいになっている住宅の満足度をお聞きしました。「満足」「やや満足」をあわせて、4割以上であり、「普通」も含めると、現在の住宅に満足されている方が多くなっています。

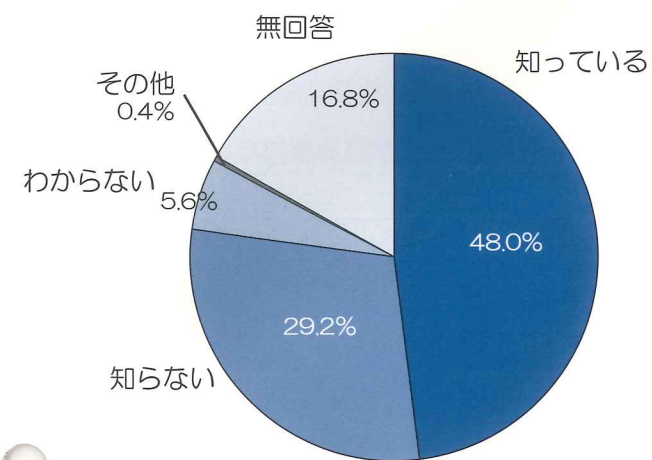


住まいの不満や問題点では、「火災による延焼」「地震での倒壊」を心配されている方が多く、その他に、「建物の老朽化」「敷地が狭い」「車が家の前まで入らない」などが問題点として多くなっています。

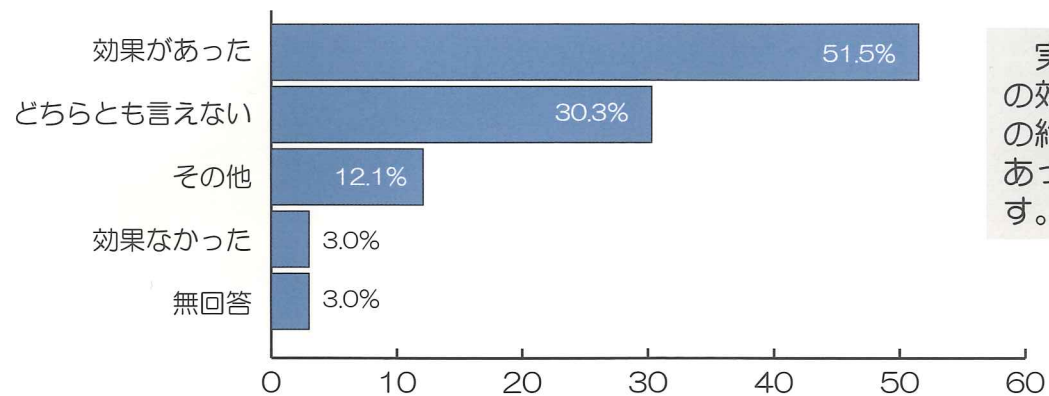
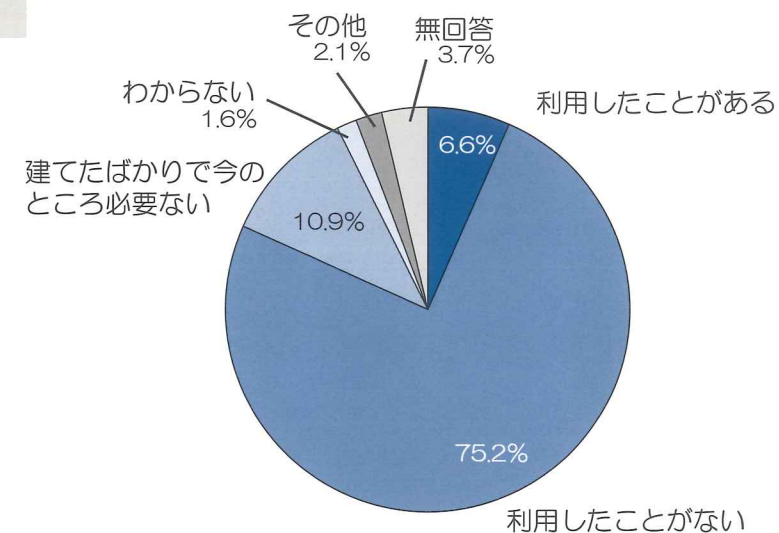


# 安全対策について

市が行っている無料の「耐震診断」について、お聞きしました。「知っている」という方は、約48%（487名）であり、ご存じない方も多いようです。

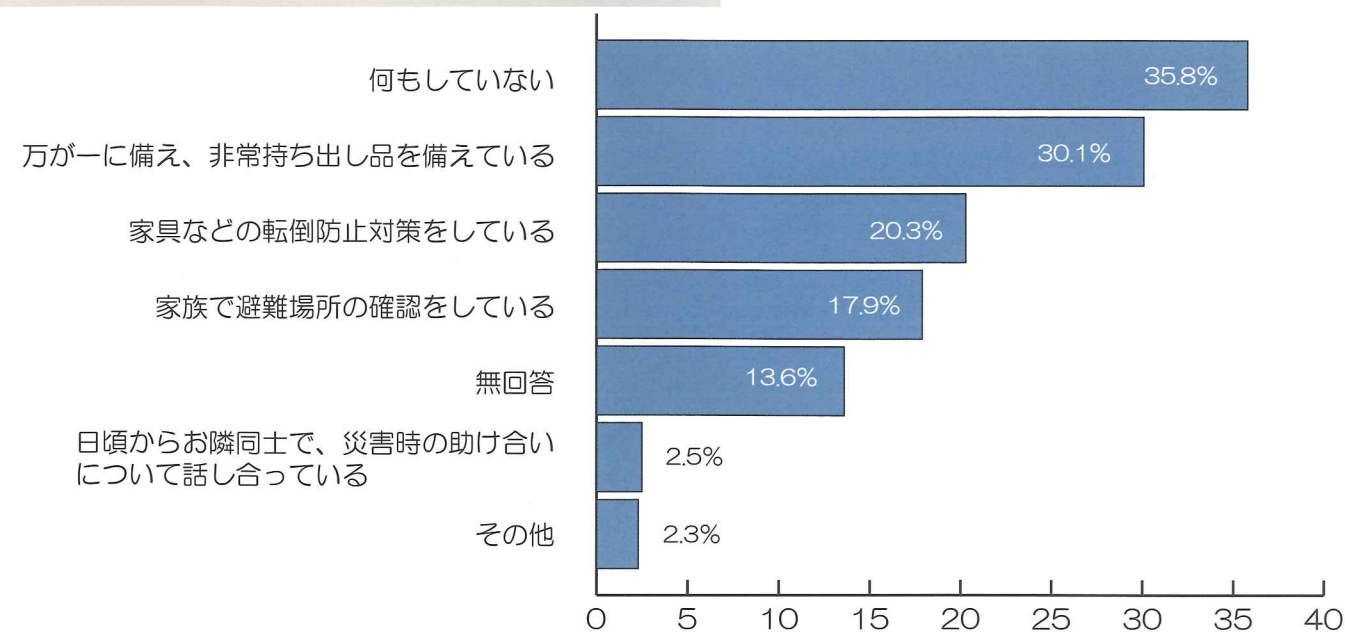


知っている方の中で、実際に利用したことがある人は、約6.6%（32名）となっていました。



実際に利用した方に診断の効果をお伺いすると、半数の約51%の方が、「効果があった」と回答されています。

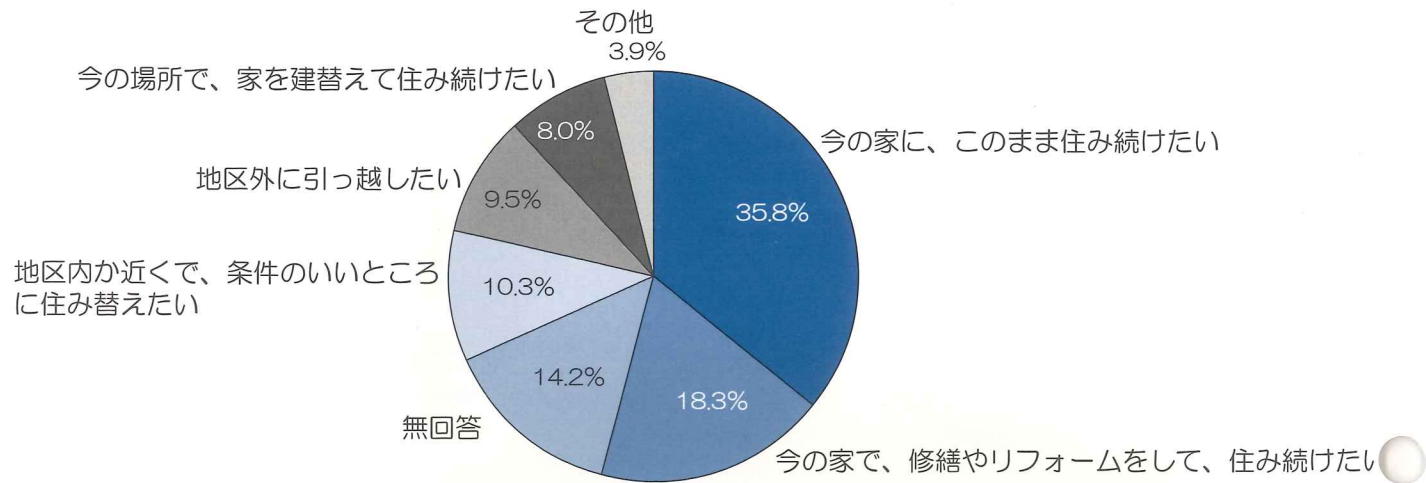
万が一の備えについてお聞きしました。「何もしていない」という方が約35%、「万が一に備え、非常持ち出し品を備えている」という方が約30%となっています。



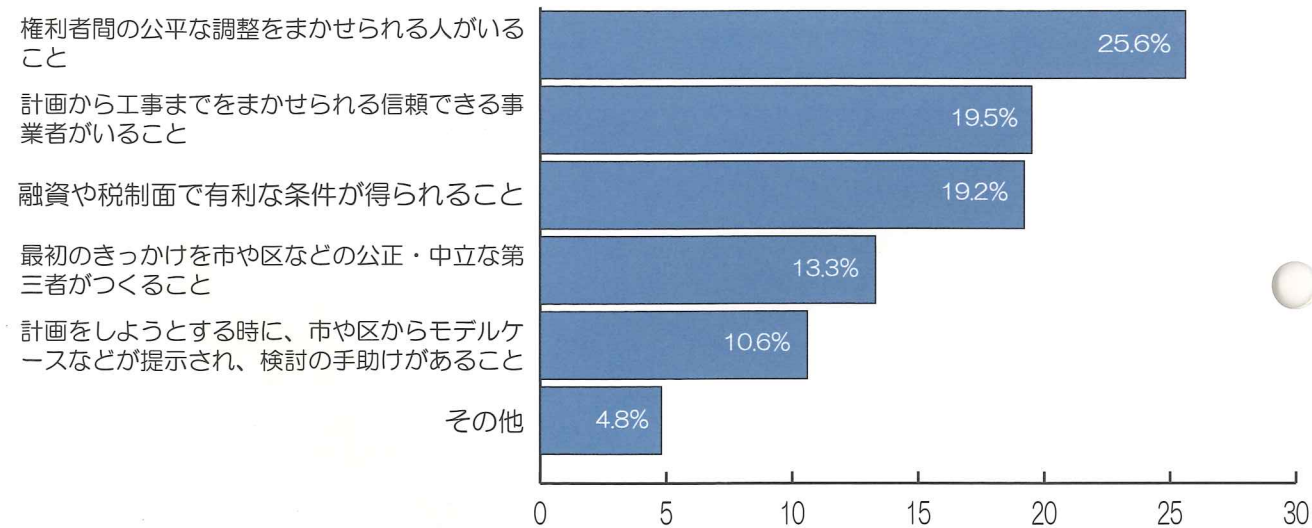


# 建替えについて

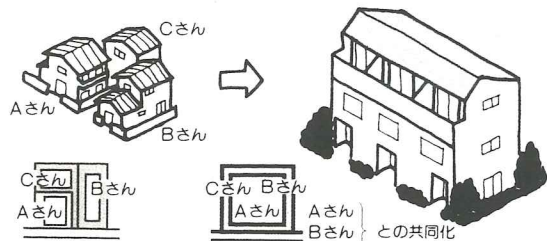
今後の暮らし方についてお聞きしました。「今の家に、このまま住み続けたい」という方や「今の家で、修繕やリフォームをして、住み続けたい」という方が多くなっています。建替えをしたいという方は、約8%となっています。また、住み替えたいという方は、約20%となっています。



敷地が狭かったり、道路条件などで建替えが困難な場合、隣同士で「共同建替え」や「協調建替え」を行うことで、土地を有効に活用する方法があります。このような建替えに関する意向をお聞きしました。共同建替えや協調建替えを積極的に考えている人は、あまり多くいませんでしたが、共同建替えや協調建替えを行う場合の条件としては「権利者間の公平な調整をまかせられる人がいること」が約25%と多くなっています。

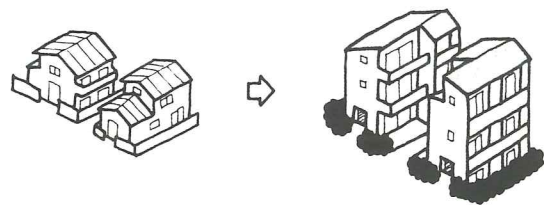


## 共同建替えとは？



Aさん、Bさん、Cさんなど、複数の地権者が敷地を合わせて一つにして、1棟の建物を共同で建てる方法です。

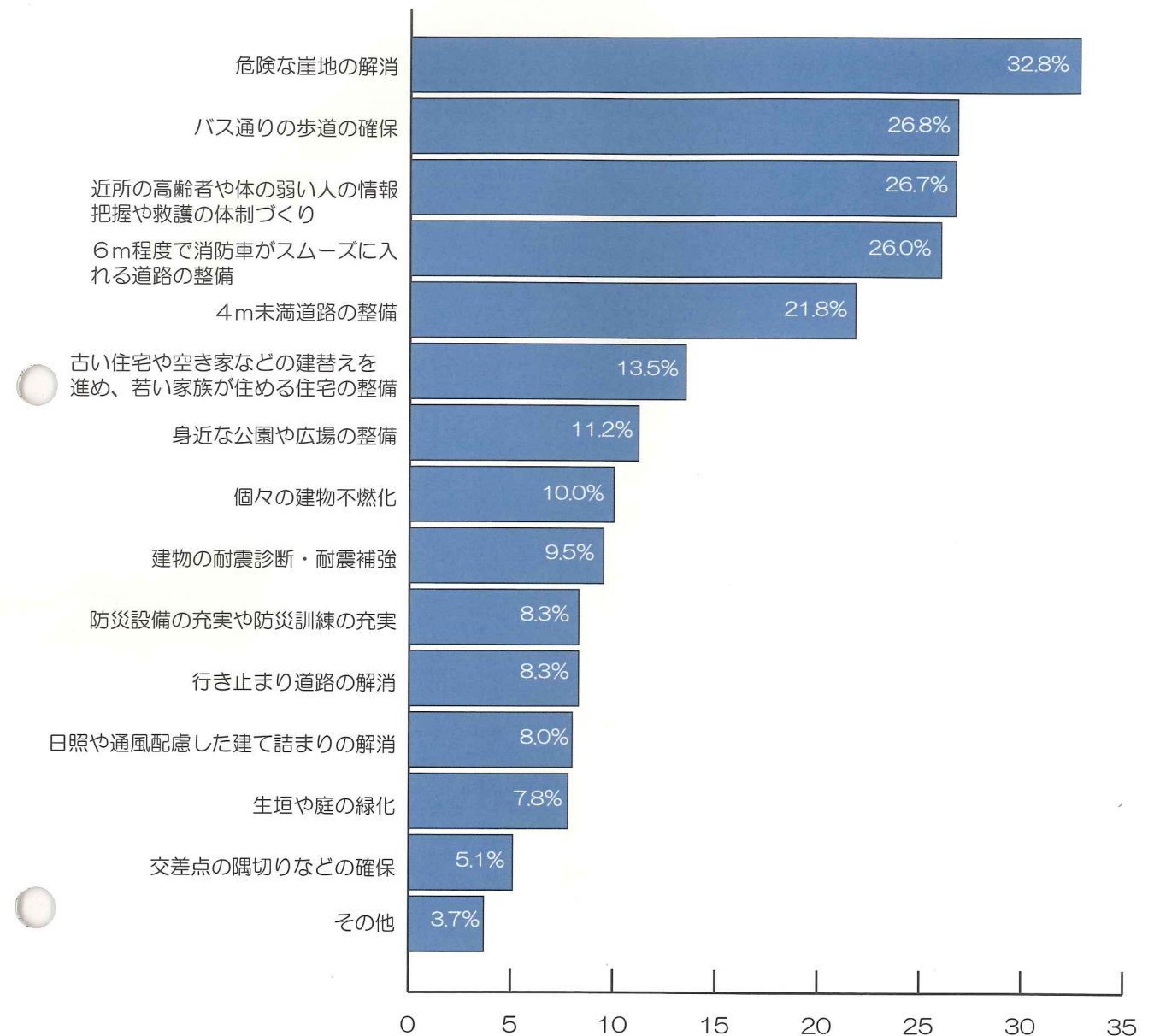
## 協調建替えとは？



お隣同士のAさん、Bさんが、建物の形態や色などの約束事を決め、約束を守って各自の敷地で建て替える方法です。

# まちづくりについて

今後のまちづくりに重要なことをお聞きしました。「危険な崖地の解消」という回答が約32%、次いで、「バス通りの歩道の確保」「近所の高齢者や体の弱い人の情報把握や救護の体制づくり」「6m程度の消防車等がよりスムーズに通行できるような道路の整備」「4m未満の道路の拡幅」などの意見が多くなっています。



## 町会別に細かく、今後のまちづくりへ期待する内容をみると・・・

**東台会**では、「危険な崖地の解消」「6m程度の消防車等がスムーズに通行できるような道路の整備」「近所の高齢者や体の弱い人の情報把握や救護の体制づくり」「4m未満の道路の拡幅」への期待が高くなっています。

**東朋会**では、「バス通りの歩道の確保」「危険な崖地の解消」「近所の高齢者や体の弱い人の情報把握や救護の体制づくり」「6m程度の消防車等がスムーズに通行できるような道路の整備」「4m未満の道路の拡幅」への期待が高くなっています。

**東睦会**では、「危険な崖地の解消」「6m程度の消防車等がスムーズに通行できるような道路の整備」「近所の高齢者や体の弱い人の情報把握や救護の体制づくり」「バス通りの歩道の確保」「4m未満の道路の拡幅」への期待が高くなっています。



# 東久保町周辺 防災マップ

西区防災マップ、横浜市ホームページ（わいわい防災マップ）より抜粋

## 【避難のしかた】

### 1. まず、近くの安全な場所へ

大地震が起きたら、指定された小・中学校に限らず、近くの学校や公園、空き地など広くて安全な場所に避難してください。そのために、避難する場所をあらかじめ、家族で決めておきましょう。

### 2. 震災時避難場所（地域防災拠点）

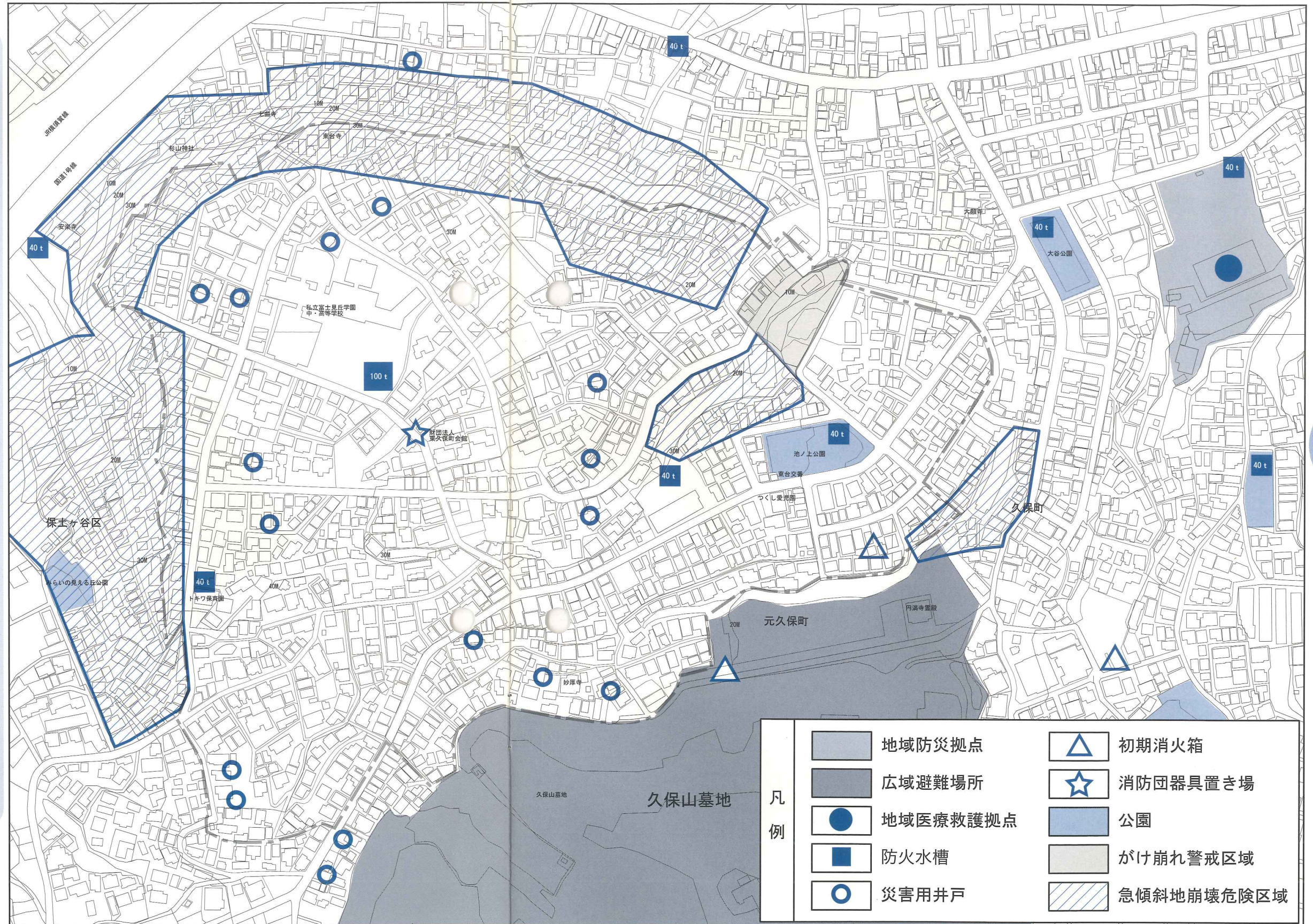
みなさんがお住まいの家が倒壊したり、また、倒壊する危険がある場合には、それぞれ、指定された小・中学校に避難してください。そのために、日ごろから安全な経路を確認し、がけやブロック塀など危険な場所を避けて避難するようにしましょう。避難場所では、避難生活に必要な物資が用意されています。なお、物資は指定された以外の震災時避難場所でも受け取れます。

### 3. 地域医療救護拠点

大規模地震等の災害時に限り、必要な期間、被災負傷者等の応急医療救護を行う救護所を臨時に設置する施設（学校）です。

### 4. 広域避難場所

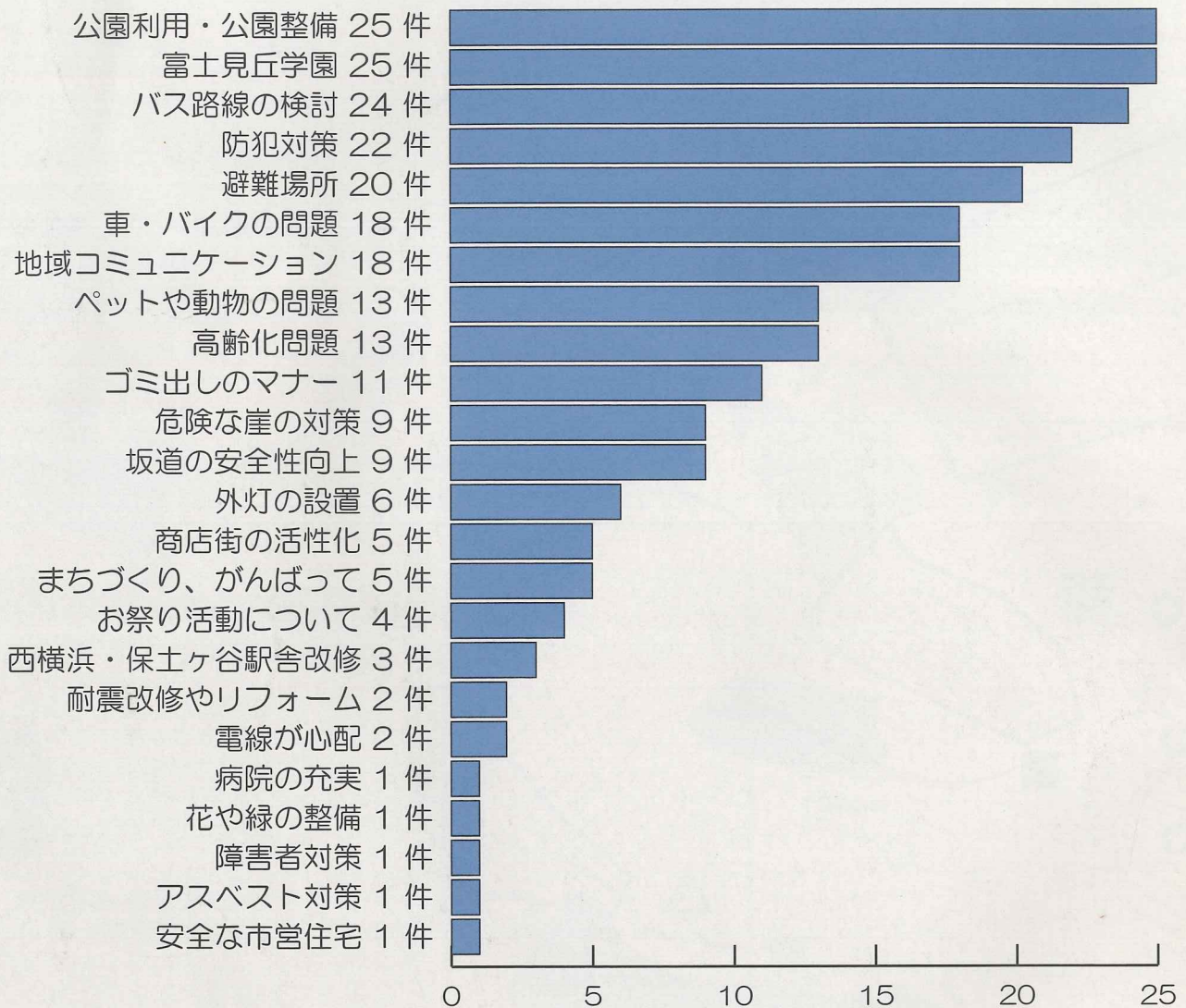
避難している小・中学校や公園、空き地などが周辺の火災の延焼などで危険になりそうときは、広域避難場所に避難することになります。広域避難場所についても、安全な経路を確認しておきましょう。





# 自由意見のまとめ

たくさんの自由意見を頂きました。  
内容をまとめてみると、公園の整備などに関する意見、富士見丘学園に関すること、バス路線の検討に対する意見が多く寄せられていました。  
その他、まちづくりに対する激励の意見なども頂きました。



## 最後に、協議会会長より一言

東久保町のまちは終戦前の家が多く、古い家や道など入りくんだところがたくさんございます。昨年七月に「夢まちづくり協議会」を発足させまして、まず最初の課題として全戸のお宅へアンケートを配布し、今住んでいる地域の良いところ悪いところを調査した結果、60.7%という高率の回答が寄せられました。それを小冊子にまとめて皆様のお宅へお配りいたしました。今後この資料をもとにして東久保町のまちをより安全で安心して暮らせるように推進委員をはじめ皆様方と一緒に協議し行動していきたいと思っておりますのでよろしくご協力のほどお願い申し上げます。

最後に今回のアンケート調査にご協力いただきましてありがとうございました。

アンケートの実施に関する問い合わせ先

横浜市都市整備局地域事業部地域整備課中部方面担当  
電話：045-671-2704（川崎、藤本）

